

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	038	人権意識の醸成				
総合計画	基本目標	人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）			担当部課名	政策総務部 政策課
	基本施策	01	人権と平和の尊重			
めざす姿	性別、年齢、国籍や障害の有無などを問わず、市民一人ひとりが、お互いの人間性を尊重し認め合っています。また、問題や悩みがある人へ、行政の支援だけでなく、地域においても相談や助け合いがなされています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	1,031,000	2,186,000	1,326,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	34,000	880,000	34,000			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	997,000	1,306,000	1,292,000			
予算現額	1,061,000	2,086,000	0			
決算額	1,002,582	1,851,787	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	30,648	721,080	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	971,934	1,130,707	0			
執行率	94.5	88.8	0.0			
(人件費)						
職員数	1.21	1.01	0.00			
職員人件費	9,305,330	7,916,612	0			
嘱託員数	2.00	3.00	0.00			
嘱託員人件費	6,240,800	9,377,658	0			
(間接経費)						
間接経費	83,557	58,657	0			
総コスト	16,632,269	19,204,714	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
性別や年齢等による不利益があると感じている市民の割合	25	実績	12.8	-	-	-	10
	%	達成率	78.1	-	-	-	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

平成30年度は前年度(10.9)と比較して増加している。平成30年度は性的マイノリティの方のパートナーシップ宣誓制度導入に向け取り組んできたが、性別や年齢等による不利益があると感じている市民が多く、今後、更なる人権啓発の取組が必要である。

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	やや遅れているが、概ね順調			
達成できている点	継続的に人権啓発に係る取組を実施しており、市民や市職員の人権意識の向上に努めている。			
達成できていない点	人権問題が多種多様化していることから、今後も更なる人権啓発に取り組む必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果
市民に対しては、人権身の上相談、小中学校の人権作文発表会、東京都等が主催する人権啓発イベントの市報・ポスター等による周知などを継続的に行った。「人権の花運動」は、小学生が花を協力して育てることで、協力し感謝することの大切さや命の尊さを学び、それにより人権尊重思想を育むことを目的として実施し、児童の意識啓発に資している。また、市職員に対しては、人権啓発等推進委員会を開催し、人権問題に対する情報の共有や検討を行った。さらに、東京都等が主催する人権啓発イベントへの参加や職員研修等を実施し、人権意識の向上に努めた。多摩東人権擁護委員協議会に負担金を支出し、人権擁護委員による小中学生の人権作文コンテストや発表会などの人権啓発事業の実施を支え、人権尊重思想の普及を図っている。また、多摩地域初となるパートナーシップ宣誓制度の導入に向けた準備を進めた。
今後の課題、状況や市民ニーズの変化
LGBT（女性同性愛者（レズビアン、Lesbian）、男性同性愛者（ゲイ、Gay）、両性愛者（バイセクシュアル、Bisexual）、性同一性障害を含む性別越境者など（トランスジェンダー、Transgender）の人々を意味する頭字語）や外国人に対する差別など、人権問題は多種多様化している。
今後の展開
東京都や東京都人権啓発活動ネットワーク協議会等が主催する人権啓発イベントに参加するなど、多種多様化した人権問題を把握し、市民や市職員の人権意識の更なる向上につなげたい。人権意識の醸成は、継続した取組が重要であるため、引き続き関係機関と連携して、人権に関する情報提供や啓発活動を行う。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
人権啓発事業	人権の花運動、人権身の上相談の実施、子どもたちからの人権メッセージ発表会の開催、小中学校の人権作文発表会の開催、東京都等が主催する人権啓発イベントの市報・ポスター等による周知	人権の花運動、人権身の上相談の実施、小中学校の人権作文発表会の開催、東京都等が主催する人権啓発イベントの市報・ポスター等による周知	人権の花運動、人権身の上相談の実施、小中学校の人権作文発表会の開催、東京都等が主催する人権啓発イベントの市報・ポスター等による周知	人権の花運動、人権身の上相談の実施、小中学校の人権作文発表会の開催、東京都等が主催する人権啓発イベントの市報・ポスター等による周知
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
政策総務部 広報課	-----			
事業種別	-----			
主要な事務事業	人権啓発に係る取組は平成29年度同様実施しているが、近年、多種多様な人権問題が起こっていることから、今後も更なる人権啓発に取り組む必要がある。			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	982			
女性人権推進事業	毎年11月12日～25日を内閣府が「女性に対する暴力をなくす運動期間」と定め、事業展開していることに賛同し、講座等の意識啓発事業を実施する。	毎年11月12日～25日を内閣府が「女性に対する暴力をなくす運動期間」と定め、事業展開していることに賛同し、講座等の意識啓発事業を実施する。	毎年11月12日～25日を内閣府が「女性に対する暴力をなくす運動期間」と定め、事業展開していることに賛同し、講座等の意識啓発事業を実施する。	毎年11月12日～25日を内閣府が「女性に対する暴力をなくす運動期間」と定め、事業展開していることに賛同し、講座等の意識啓発事業を実施する。
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
市民協働推進部 地域コミュニティ課	-----			
事業種別	-----			
主要な事務事業	女性に対する暴力をなくす運動期間に講座を実施（参加者25名）・デートDV意識啓発講座（市内学校）を実施（参加者9名）・DV根絶パネル展示・パープルリボンキャンペーンを実施。			
4か年事業費計(単位:千円)	-----			
	1,732			
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			

事業種別	-----			

4か年事業費計(単位:千円)	-----			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 人権啓発事業	30		1,411,000	1,251,680	565,000	人権の花運動などの人権啓発事業	B	1
2 女性人権推進事業	20		742,000	567,707	761,000	「女性に対する暴力をなくす運動」に伴う関連講座事業の運営	B	1
3 人権施策推進事務	30		33,000	32,400	0	府中市人権啓発等推進委員会の実施や、人権啓発事業に係る研修等への派遣事務	B	1
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			2,186,000	1,851,787	1,326,000			

施策評価シート

記載年月	令和元年8月
対象年度	平成30年度

1 施策の名称・めざす姿

施策名	039	平和意識の啓発				
総合計画	基本目標		人とコミュニティをはぐくむ文化のまち（文化・学習）		主担当部課名	文化スポーツ部 文化生涯学習課
	基本施策	01	人権と平和の尊重			
めざす姿	市民一人ひとりが、世界平和への願いを込めた「府中市平和都市宣言」を尊重し、本市と協働して平和事業に取り組んでいます。また、市民一人ひとりが、世界の恒久平和を願い幸せに生活しています。					

2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H29年度	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	R 4年度
(事業費)						
当初予算額	1,987,000	1,859,000	4,245,000			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	1,987,000	1,859,000	4,245,000			
予算現額	1,987,000	1,791,000	0			
決算額	1,093,731	930,152	0			
国庫支出金	0	0	0			
都支出金	0	0	0			
市債	0	0	0			
その他	0	0	0			
一般財源	1,093,731	930,152	0			
執行率	55.0	51.9	0.0			
(人件費)						
職員数	0.79	0.77	0.00			
職員人件費	6,066,513	6,050,732	0			
嘱託員数	0.00	0.00	0.00			
嘱託員人件費	0	0	0			
(間接経費)						
間接経費	216,431	170,892	0			
総コスト	7,376,675	7,151,776	0			

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				R 3年度 目標値
			H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度	
平和啓発事業参加者数	11,484	実績	8,533	-	-	-	13,000
	人	達成率	65.6	0.0	0.0	0.0	
平和が大切であると感じている市民の割合	90.3	実績	89.3	-	-	-	91
	%	達成率	98.1	0.0	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

指標の分析

平和啓発事業は継続して実施していくことが重要な事業と考えているが、参加者数は、平和展の回数と場所に依存している。(他の事業が会場の広さなどの制約から大幅な増加は見込めないため)

4 施策の進ちょく状況

	H30年度	H31年度	R 2年度	R 3年度
進ちょく状況	目標達成に向け順調に進ちょくしている			
達成できている点	平和啓発事業は、計画通り実施できている。			
達成できていない点	平和啓発事業参加者数及び平和が大切であると感じている市民の割合は、いずれも目標値を下回っている。平和への意識・関心を高めるため、平和啓発事業の実施についてより工夫する必要がある。			

5 施策の評価

これまでの主な取組と成果

平和に関する意識啓発を図るため例年実施している事業に加えて、職員が市立小学校（2校）を訪問し、市の資料を教材として活用し、授業を行った。

- 夏休み平和子ども教室の実施
- 平和展の開催
- 平和のつどい（映画会・講演等）の開催
- 黙とうの呼びかけ
- 府中市立小学校連携平和啓発事業の実施

今後の課題、状況や市民ニーズの変化

平和啓発事業は、継続して実施していくことが重要な事業であるが、実際に戦争体験のある人が少なくなっているため、講演会のあり方として戦争体験のない人が、どのように政治的に中立な平和啓発事業ができるかを模索していく必要がある。また、地域の資源を活用し、市民と協働した平和啓発事業に取り組んでいく必要もある。

府中市立小学校連携平和事業は、今年度モデル校として2校を指定して実施したが、目標である全校実施に向けた手法について、教育委員会及び小学校長会と連携を図りながら検討していく。

今後の展開

引き続き、恒常的な事業を実施しながら、戦争体験者の減少等、時代の変化に合わせた事業を取り入れていく。

また、令和元年度及び令和2年度は、例年8月に実施している「平和のつどい」・「平和展」・「夏休み平和子ども教室」を、オリンピック・パラリンピック競技大会をテーマに、同一時期・同一会場で実施する「平和の祭典から『平和』を考えるウィーク」を実施する。

府中市立小学校連携平和事業は、対象校を拡大しながら実施し、児童に「平和の尊さ」について啓発していく。

6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）			
	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度
平和啓発事業	▼原水爆禁止運動を行う団体への補助金の交付 ▼平和啓発を図るための広報・周知の実施及び平和啓発事業（平和展・平和のつどい・夏休み平和子ども教室・府中市立小学校連携平和事業）の実施	▼原水爆禁止運動を行う団体への補助金の交付 ▼平和の祭典から『平和』を考えるウィーク（平和のつどい・平和展・夏休み平和子ども教室を同一期間に同一会場で実施） ▼3月平和展、府中市立小学校連携平和事業の実施	▼平和の祭典から『平和』を考えるウィーク（平和のつどい・平和展・夏休み平和子ども教室を同一期間に同一会場で実施） ▼3月平和展、府中市立小学校連携平和事業の実施	▼平和啓発を図るための広報・周知の実施及び平和啓発事業（平和展・平和のつどい・夏休み平和子ども教室・府中市立小学校連携平和事業）の実施
	【進捗状況】 目標達成に向け順調に進ちよくしている	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
文化スポーツ部 文化生涯学習課	平和啓発を図るための広報・周知として、「平和のつどい」・「平和展」・「夏休み平和子ども教室」の3事業を実施するとともに、府中市立小学校と連携した平和事業を行った。また、広報ふちゅうや各施設の館内放送で、黙とうの呼びかけを行うなどした。			
事業種別	-----			
主要な事務事業				
4か年事業費計(単位:千円)				
7,524				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)				
	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】	【進捗状況】
所管部署	-----			
事業種別	-----			
4か年事業費計(単位:千円)				

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の前算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H30年度		H31年度	事務事業の概要	事務事業評価/総合評価	
			当初予算額	決算額	当初予算額			
1 平和啓発事業	30		1,859,000	930,152	4,245,000	「府中市平和都市宣言」に基づき、平和に対する意識を高めるための事業を展開する。	B	1
2								
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			1,859,000	930,152	4,245,000			